

市民の怒りが菅を倒した！ 命と暮らしを守るため衆院選で自公政権を打倒しよう ～対案は民主主義的社会主义～

●9/3 菅首相、自民党総裁選立候補せずと発表

菅内閣はオリンピック、パラリンピックを強行し、医療崩壊を招いたことへの市民の批判の中で打倒されたのです。菅政権はコロナ感染急拡大に対し、何の対策もうちませんでした。感染者の自宅療養者（放置者）は激増し、まったく治療を受けられず放置される医療崩壊が起きています。この理由は明白です。菅首相、小池都知事、吉村大阪府知事が病院、病床を増やしてこなかったからです。厚労省は一貫して公立病院を減らそうとしています。また臨時病床を直ちに必要数を作るということもしません。「ワクチンを打て」というだけです。そのワクチンも政府方針通り供給されず混乱を招いています。

●今必要なことは、誰でも無償で受けられるPCR検査を拡げ、陽性者を隔離し医療の下に保護すること、発症者をすべて入院できるようにすること

そのために必要な財政をすべて投入すべきです。しかし菅、自公政権の新自由主義路線は医療費を削減し、グローバル資本向けの財政支出（沖縄辺野古新基地建設などの軍事費増額、デジタル化、リニア、カジノ、万博）を最優先しています。

●市民の命と暮らしを破壊する自公政権を打倒しましょう！

菅の政策は菅個人のものではなく、自公政権がこれまで新自由主義路線として実行してきたものです。菅が辞めるだけでなく、自公政権そのものを打倒しなければなりません。自公の補完者である維新、小池も打倒しなければなりません。10月に予定されている衆議員選挙で、自公維新を市民と野党の共闘で叩き落としましょう。

●沖縄辺野古新基地建設に対して、DSA（アメリカ民主主義的社会主义者）と連帯し、ZHAP（ZENKO辺野古プロジェクト）を進めていきましょう。韓国の平和運動と連帯し、朝鮮半島終戦キャンペーンを進めアジアにおける軍拡を阻止しましょう。

●みなさん、MDS集会にご参加ください。これらの闘い・運動の中で民主主義社会主义に前進しましょう。



【プログラム】

▶基調講演

『衆議院選挙で自公政権を倒そう』

▶医療講演

『コロナワクチンをどう考えるか。
科学的根拠に基づく積極的施策を』

医療問題研究会・医師

▶発言・グループ討議など

「命と暮らしを守るために、衆院選をはじめ、コロナ闘争…MDSとともに闘おう」

- ◆ コロナ感染症対策のため、参加をご希望の方は事前にご連絡ください。発熱・咳など体調のすぐれない方はご遠慮ください。
- ◆ 当日の検温、手指消毒、マスク着用等感染症対策にご協力ください。

★主催:MDS(民主主義的社会主义運動) <http://www.mdsweb.jp/>

〒536-0016 大阪市城東区蒲生1丁目6-21LAGセンター内 電話:06-6934-8512 FAX:06-6934-8112
連絡先(高松)携帯:090-7096-4719